

子ども緊急通報装置作動訓練

1年生の子供たちは、富山県ではこの校区だけにある子供緊急通報装置を使い、緊急事態の発生を警察署に知らせる訓練を受けました。不審者役の学校職員が、「一緒に行こう。」と誘いましたが、子供たちは「嫌だ。」とはっきりと断りました。その後、子供が緊急通報装置のボタンを押すと、高岡警察署員が応対し、緊急事態発生時の状況、不審者の性別、年代、服装等の特徴を尋ねました。子供たちは、それらを概ね覚えてはいたのですが、記憶が曖昧な点もあり、緊急の場面で状況を正確に捉えて、適切な行動をすることの難しさを感じました。数分で警察官が駆け付けたときには、訓練だと分かってはいても、子供たちはほっとしたような表情になりました。



通報装置の使用方法を知っておくだけでなく、自分の身を守るために大切なことを、常に意識して生活する必要があると感じました。

避難訓練



今年、初めての避難訓練が5月10日（水）に行われました。1回目の訓練は、授業中火災が発生したという想定でした。あいにくの雨で避難場所が体育館に変更しましたが、子供たちは、教師の引率のもと避難場所に静かに敏速に避難することができました。



その後、校長先生から「災害はいつ、どんな時に起こるか分からないので、どんな時にも冷静に判断できるよう、これからも一つ一つの訓練を真剣に取り組んでほしい」という話を聞きました。訓練を通して、自分の命は、自分で守る力をしっかり身に付けてほしいと思いました。

運動会に向けての「応援練習」

運動会に向けて、スローガン「つくろう!横田の伝説を!!勝利をその手でつかみ取れ!」のもと、応援練習に力が入っています。どの団も団結力を高め、大いに盛り上げてくれそうです。



<六年生児童の作文より>

- ・ 応援練習をがんばっています。自分の全力の声を出して、動作も大きくしています。当日負けたとしても、最後まであきらめず応援します。
- ・ みんなでやるからこそ、本当の達成感を味わえると思います。だから、どんなことがあってもあきらめずに全力をつくしたいです。
- ・ 応援合戦は、団長や応援団長だけに任せるのではなく、自分が出せる声を限界まで出して、下学年をリードしたいです。本番では、みんなで協力して「Do my best!」で全力で取り組みたいです。
- ・ これまでは一生懸命にやっているつもりで、人任せになっているところがありました。意識一つで自分はすごく変われるんだなと思いました。自分ができることをやって、笑顔で終わりたいです。